

CAR No.34&35&36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2012/ 7/8



スーパーFJ 東北シリーズ 第 2 戦

7月8日(日) 予選・決勝

レーシングコース 1 LAP=3.704km 出走：10台

天候：くもり コース：ドライ 気温：22℃ 湿度：60% 路温：34℃

ドライバー：小村方 喜章 (アルビ RT GIA ED #34)

栗村 和 (アルビ RT・ビヨ ED アソー #35)

佐藤 祐希 (アルビ RT 玉三郎 ED RD10V #36)

予選結果：佐藤選手 5位 栗村選手 9位 小村方選手 10位

決勝結果：佐藤選手 5位入賞 栗村選手 7位 小村方選手 9位

■7月8日(日) 予選

東北シリーズは昨年鈴鹿シリーズに参戦していた佐藤選手、栗村選手に加え、今回の菅生がレースデビューとなる小村方選手の3選手で挑むこととなる。

9時5分予選開始。前日の雨によりコースがややハーフウェットといった状況のため、10分間のウォームアップランの後、20分間の予選がスタートした。

佐藤選手は予選開始まもなく3周目にベストラップをマークするも、その後なかなかタイムを更新する事ができず、そのまま5番手を獲得。

栗村選手もどんどん周回を重ね、少しずつタイムを更新。最後にベストラップをマークするも及ばず9番手ポジションとなる。

スーパーFJ初レースとなる小村方選手は準備等々に手惑い思うように走れず、最後尾の10番グリッドで決勝レースを迎える。

■7月8日(日) 決勝

13時14分決勝スタート。各車スタートは順調に決め着々とレースは進行していく。

各車、ポジションが大きく変わる事が無いまま迎えた8周目、4番手を走行していた車両のミスにより、5番手を走行していた佐藤選手が4番手に急接近。1コーナーで横にならび、

4番手浮上のチャンスを掴む。しかし、アウト側タイヤ1本分コースを外れバランスを崩してしまふ。結果、パスするには至らず、ファイナルラップを迎えて5位でフィニッシュ。それでも自身初の入賞を達成した。

栞村選手は、3周目に前車のミスにより、6周目には1台パスし7番手まで順位を上げたが、上位とは速さの開きがあり、そのまま7位フィニッシュ。

小村方選手も前車のミスによりポジションを上げ、11周目には小村方選手のファステストラップを記録するが、結果9位でチェッカーを受けた。

○小村方選手コメント

レースデビューということもあり、たくさん勉強することがありました。今回である程度流れは掴めたので、次はもっと余裕を持ってレースに臨みたいです。

○栞村選手コメント

去年の鈴鹿以来、久しぶりのレースでした。ただ、なかなか自分の思うように車を動かすことができず、満足のいく結果を残すことはできませんでした。まだまだ学ぶことが多いので、次戦までにたくさん練習していきたいです。

○佐藤選手コメント

地元のサーキットということもあり、まずは入賞という結果を残せて嬉しいです。応援して頂いたみなさんありがとうございました。ただ、まだ速さが足りないところもあるので、もっと練習して、次は表彰台に立てるように頑張りたいです。

○中村監督コメント

東北で久しぶりの開催となり、とても嬉しく思います。

佐藤選手は元々元気のある走りでしたので、地元開催で気合が入っていました。そのままの勢いが決勝まで続きよかったです。次戦は3位以内を目指してほしいです。

栞村選手に関しては、まだ学習することが多く、少しずつ成長してくれば良いです。

小村方選手は初レースということもあり、多々、本人のトラブルがありましたが、早く雰囲気慣れてほしいです。

3人ともレースウィークでの練習走行が1つの課題とわかりました。次回も入賞目指し努力します。





PPLUS  Nankai Plan Co.,Ltd.

鈴木会計
埼玉・川口
<http://www.tcnf.com/sds>

MID Japan Inc.
Mitsui Impress Development



・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO

・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター